

第10回 北海道大学映像・現代文化論学会大会 プログラム

◎日程：2026年10月31日（土） 10:30～17:30 ◎方式：対面

◎会場：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 W409

◎主催：北海道大学大学院文学研究院 映像・現代文化論研究室

総合司会 川崎 公平

10:30～10:35 開会の辞 応 雄

○研究発表（30分＋質疑応答10分）

10:35～11:15 〈私〉の特権化と臨界——情動論的転回以後

三浦 光彦（特任助教）

11:15～11:55 「ショット」に漸近する

佐藤 颯（博士後期課程）

（11:55～13:30 昼休み）

13:30～14:10 若杉嘉津子主演〈毒婦高橋お伝〉の表象研究

沖村 悠（博士後期課程）

14:10～14:50 「饒舌」から「沈黙」へ——小熊秀雄晩年の詩学

寺本 真太郎（博士後期課程）

14:50～15:30 「性的存在」の実装——大江健三郎〈政治と性〉再考

押野 壮（博士後期課程）

○講演（15:50～17:25）

講師紹介 三浦 光彦（特任助教）

演技はどこでつくられるのか

——映画・演劇・小説における人体と環境

山本 浩貴（いぬのせなか座）

17:25 閉会の辞

水溜 真由美

（肩書きの記載のないものは、映像・現代文化論研究室教員）